

# 漁業実習生と大学生交流

スポーツや料理楽しむ 室戸市

【室戸】室戸市元乙の国立室戸青少年自然の家で25、26日、インドネシアからの漁業実習生と県内大学生がスポーツや料理を通じて交流した。

実習生は52人で、昨年12月から自然の家に滞在。2月末まで日本語や漁業の基礎を学んだ後、県内のカツオ一本釣り漁船で洋上実習を行う。

交流会は、自然の家の活動を支える大学生ボランティアグループの研修の一環。将来は実習生と子どもたちの交流につなげようと企画し、高知大学と高知県立大学の7人が参加した。

初日はバレーボールを楽しみ、夕食後はたき火を囲んで語らった。実習生は「初めて食べる」と焼いたマシユマロをばくり。「おいしい」と大学生らと笑い合った。実習生のギターに合わせて合唱し、盛り上がった。2日目は手巻きずしを一緒に作って味わった。

実習生のダダン・リズキアン・シャーさん

(19)は「楽しかった。大学生はみんな優しい」

く、いろいろな話をした」と笑顔。県大3年の金山彩香さん(21)は「みんな陽気で、好奇心旺盛。楽しんでもらえたよううれしい。」

まだ手探りだけど、子どもたちとの交流も実現したい」と話していた。(大野耕一郎)



たき火を囲んで笑顔を見せる漁業実習生と大学生(室戸市の国立室戸青少年自然の家)